

Bulletin of Jumonji College, vol.45, 2014

【講演概要】

「文芸世界への招待状～四季物語～」*

はじめに

2014年度後期に本学の専任教員4名が新座市内大学公開講座を4回シリーズで担当した。来年度からスタートする人間生活学部文芸文化学科の開設記念講演として、大学開放・地域連携推進センターとの共催で開催したものである。

講座を担当した4名の講師の専門分野は様々である。そこで、4回シリーズとしての統一感を持たせるために、春夏秋冬の四季をそれぞれに振り当て、各々の専門分野と合わせてテーマを設定した。演題は以下のようにまとまった。

春の章「巨匠たちとエコロジー——ロシア文学の自然誌——」

小林実 (11月1日実施)

夏の章「夏の夜の笑い——文学から学ぶ英国式ユーモア——」

落合真裕 (11月15日実施)

秋の章「味ことばの100年史——おいしい日本語いまむかし——」

星野祐子 (12月6日実施)

冬の章「王朝文学の冬の風景——清少納言が見た雪——」

赤間恵都子 (12月13日実施)



講演は11月から12月中旬の、いずれも土曜の午後1時半から3時までの90分間に、本学9417教室で実施した。各講師が最も得意とする分野を選んだ結果、ロシア文学、イギリス文学、日本語学、日本古典文学とバラエティー豊かな内容で、興味深く楽しい講座を実施することができたと思う。晩秋から初冬にかけての落ち着いた季節に、地域市民の方々に文芸世界をじっくり味わっていただけたことは幸甚だった。4回の講演の延べ参加人数は、一般115名、学生48名、卒業生5名で、総計168名となった。なお、表現文化学科は毎年リカレント生を受け入れており、一般参加者のうち7名がリカレント生として講演にも参加されている。

本講演を開催するにあたって、企画段階からアドバイスくださった大学開放・地域連携推進センター長の星野敦子先生、当日の準備と会の運営を担ってくださった社会交流支援課の職員の方々、受付を担当してくれた学生たち、そして本学までお越しになり熱心に講座を聞いてくださった市民の方々に心より感謝申し上げます。なお、ポスターおよびチラシのデザインは人間生活学部生活情報学科の川瀬基寛先生にお願いした。この場を借りて御礼申し上げます。(赤間)

* “Invitation to the literary world ~ Tales of four seasons ~” Outline of presentation

キーワード：文芸 四季 ロシア文学 イギリス文学 日本語学 王朝文学